

平成31年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工業高等学校

項目担当	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の充実を図る。 ・生徒個々の能力の向上を図る。 ・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 ・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行う。 	
	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の連携を深める。 ・儀式的行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA委員会の活性化を図る。 ・e-メッセージを積極的に活用する。 ・全職員の協体制を整え、儀式的行事に取り組む。 ・生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会の自主的・積極的な活動をさらに促す。 ・e-メッセージにより、学校から保護者へ連絡事項の迅速な伝達に努める。 ・生徒が規律ある態度で積極的に儀式的行事に取り組めるように支援する。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学力を向上させる。 ・広報活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫・改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 ・授業を大切にす。 （授業規律、成績不振者指導等） ・中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に努め、学力向上を図る。 ・成績不振者に対し継続的な指導を行う。 ・生徒個々の学力に合わせ、適切な指導計画を立てる。 ・分掌・学年会等、関係各所と連携し実施する。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 ・安全・安心な学校生活の実現。 ・いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導で挨拶の励行を行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 ・講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止と減少に努める。 ・生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 ・情報を職員間で共有し、いじめ対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任・職員・保護者と連携し、生徒と保護者に理解を得る。 ・命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止と減少に努める。 ・全校集会やHRにおいて、いじめは許されない行為であると生徒に理解させる。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚を図る。 ・進路校内選考基準の見直しについて、引き続き検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。 ・進路選考の申し合わせ事項の見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意志と責任で進路を選択決定できるようにする。 ・評価内容が明瞭で、迅速な校内選考作業ができるようにする。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活を送れるようにする。 ・日常の清掃に積極的に取り組み、整備され、落ち着いた学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、各学科相談係と連携し、教育相談体制の充実を図る。 ・清掃を毎日全員で実施し、環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒保健委員による健康観察、文化祭等の発表を通じて健康意識向上を図る。 ・教育相談委員会、相談係を通じて生徒情報の共有と対応を図る。 ・生徒厚生委員によるゴミの分別作業を行い、ゴミの減量化を図る。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 ・個人情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ・ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 ・「KO-GYO-Times」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 ・セキュリティの向上を行う。 ・クラウドやSNSの活用を検討し、それらを本校ホームページの活性化に役立てる。 ・学校ホームページの情報を補完し、中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館だより」の内容を充実させ、生徒の興味、関心を引き、利用しやすい環境を整える。 ・ネットワークハードディスクの適正な利活用を推進する。 ・学校行事や部活動の試合結果など、情報の更新を随時行う。 ・「KO-GYO-Times」を中学校の教員や生徒・保護者及び企業関係者に配付する。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実を図る。 ・ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 ・ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒議会、各委員会の活動を活発化させ、各クラスとの連携を進めて、全校生徒が何らかの行事に参加、協力ができるようにしていく。 ・地域との連携を図り、ボランティア活動をすすめる。 ・ボランティアの掲示板を設置する。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得を通して自ら学び、生徒の個々の能力を高める。 ・開かれた学校づくりを目指して、地域イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に資格取得の勉強をし自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。 ・地域連携授業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資格の情報を発信する。 ・地域と連携がうまくできるように計画する。 ・自ら勉強し資格取得に取り組めるようにする。

	重点目標	具体的方策	留意事項
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味と関心を深め、学習や進路に対する積極的な姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学習を始めとし、進路を意識した資格取得や技能検定および競技会へ積極的に取り組ませる。 外部との連携を深めることで、キャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路に対する興味関心を高め、目標を持たせる。 学習も進路選択も生徒自ら意欲的に取り組めるように指導する。 地域の活動を通して、コミュニケーション能力の向上を促す。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 平素の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 部活動や各種競技大会などに積極的に参加できる環境を整える。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究に力を注ぎ、わかりやすい指導を心がける。 資格取得への関心を高めると同時に、進路に対する興味関心を高め、目標を持たせる。 朝や帰り、授業への移動など、機会があるごとに声かけし、正しい言葉遣いやコミュニケーション能力の向上を促す。 自己表現できる場にたくさんの生徒が参加できるように、多くの生徒に声かけをする。
土木科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味と関心を深め、学習や進路に対する積極的な姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 土木への興味と関心を深めさせ、各種資格取得・競技大会へ積極的に参加し、生徒の達成感を養う。 建設業界など外部との連携を深め、キャリア教育の推進を図る。 地域の行事・活動に参加することで、公共性を身に付けさせる。 コミュニケーション能力を向上させるため、挨拶や正しい言葉遣いを日頃から指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 土木への興味と関心を持たせるために資格取得についての意義をわかりやすく説明する。 外部機関との連携により、生徒に具体的な目標や使命感を持たせ、やる気を起こさせるようにする。 地域で何を求められているのかを体験により理解させ、公共性の大切さを学ばせる。 社会におけるコミュニケーション能力の重要性を伝え、繰り返し指導する。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立。 進路実現に向けた意識の高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを身に付け、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。 身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。 現場見学会・出前授業・インターンシップ・職業指導講話・面談などを通して、早期に目標を設定する意識を持たせ、社会人としての勤労意欲の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が時間を守るという意識を持って行動できるよう働きかける。 始業・終業時や、職員室への入退室時など、全職員で協力して指導にあたる。 現場見学会・出前授業・インターンシップ・職業指導講話・面談等により、技術者としての将来をイメージさせる。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立や日常のマナーを身に付けさせるとともにコミュニケーション能力の向上を図る。 1年次より進路を意識した目標設定を促し、学習への取り組む姿勢を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退・欠席をしないことの大切さや、挨拶・言葉遣い・協調性・身だしなみなどを、学年会や関係分掌と連絡を取り合いながら学校生活のあらゆる場面で指導する。 HR・LT活動・学年集会などを活用し、目標設定や目標達成のための支援を行う。また、各教科や学科と連携をはかり、授業に臨む態度・心構えを理解させ、提出物・課題が遅延することなく提出できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初から個人面談を積極的に行い、生徒との信頼関係を築くとともに、保護者との連携を密にし、個に応じたきめ細かな指導をする。 学習・資格・部活動などの学校生活の中で具体的な目標を持たせ、それを現実させることで充実した高校生活を送ることができるよう指導する。また、教員側からの進路についての情報提供を積極的に行い、生徒と保護者の両方の進路意識を高める。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えて行動する能力の確立。 進路に対する意識の高揚を図り、進路に対する具体的な目標をはっきりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告、連絡、相談が自分で考えてきちんとでき、適切な行動がとれるように学年会、各科、各分掌と連絡を密にしてきめ細かい指導を行う。 LTやST、進路指導室の活用等を通し、主体的に進路選択できるように指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、自分の言葉で伝えることの訓練を生徒とのコミュニケーションを密にして指導していく。生徒個々の能力に応じた指導を心掛け、家庭との連絡を密に行う。 進路指導部と連携し、個々に適した進路情報の提供を積極的に行う。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力・適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるようにする。 社会人としてのモラル、マナーをしっかりと身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> LTや個人面談を活用し、個々の生徒の進路希望についてよく確認する。 日常生活指導により、社会人として必要なモラル、マナーを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に進路に関する情報を与え、生徒と保護者が進路について、十分な話し合いができるようにする。 社会人になることを意識させ、言葉遣いや挨拶、身だしなみなどの大切さを理解できるように、日頃から指導する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	